

6. 南魚沼市の将来像と 2030 年度削減目標達成に向けた基本方針

6-1. 2050 年度の将来像

本市は 2050 年度のカーボンニュートラルの実現を目指します。

カーボンニュートラルが実現した本市では、「脱炭素の取組」「循環型社会の実現」「環境活動への取組」の 3 つの視点で以下の将来像の実現を目指します。

将来像 1 地域特性を踏まえた脱炭素の取組が最適に行われるまち (脱炭素の取組)

- 特別豪雪地帯という地域特性を踏まえた、気密性、断熱性の高い住宅が普及しています。
- 太陽光発電や水力発電、地中熱、雪氷熱などの再エネが最大限に導入されています。
- 市民、事業者、行政機関等の日常生活や事業活動などの様々な場面において省エネ化の取組が行われています。

将来像 2 自然環境が整備され、限りある資源の有効活用に取り組むまち (循環型社会の実現)

- 3R が徹底され、資源が有効活用され、廃棄物の発生が抑制されています。
- 森林資源については、保全やエネルギーとしての活用が進んでいます。

将来像 3 市民、事業者、行政機関等のあらゆる主体が環境活動に取り組むまち (環境活動への取組)

- 市民、事業者、行政機関等のあらゆる主体が環境学習やカーボンクレジットの発行などの様々な環境活動に取り組み、より環境負荷の少ないライフスタイルを実現しています。

6-2. 2030 年度削減目標

本計画では、計画期間の 2030 年度における、温室効果ガス削減目標を脱炭素シナリオに基づいて「2013 年度比 50%削減 (165.1 千 t-CO₂)」とします。

2030 年度 温室効果ガス削減目標

2013 年度比 50%削減 (165.1 千 t-CO₂)

6-3. 2030 年度削減目標達成に向けた基本方針

脱炭素シナリオに基づいて 2050 年度の将来像を実現するためには、2030 年の削減目標の達成が必要になります。このため現状における課題を踏まえた 3 つの基本方針を設定します。本計画では、この基本方針に基づいて施策を展開し、2050 年度の将来像の実現につなげていきます。

